

平成 30 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 音 通
代 表 者 名 代表取締役社長 岡村 邦彦
(コード番号 7647 東証第二部)
問 合 わ せ 先 代表取締役副社長 仲川 進
(TEL 06-6372-9100)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 5 月 10 日に公表した業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 連結業績予想の修正

平成 31 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）
（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株 当 たり 四半期純利益
前回予想 (A)	8,231	130	100	50	円 銭 0.26
今回修正 (B)	8,097	105	87	11	0.06
増減額 (B-A)	△134	△25	△13	△39	—
増 減 率	△1.6%	△19.2%	△13.0%	△78.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	8,341	132	103	55	0.29

2. 修正の理由

当第 2 四半期累計期間の売上高につきましては、食料品・生活雑貨小売事業での地震や西日本豪雨、台風、猛暑といった天候不順の影響が大きかったものの、カラオケ関連事業、スポーツ事業が好調に推移し、当初の予想を若干下回る結果となりました。利益面につきましては、人件費、水道光熱費等の経費削減にグループ全社で取組み一定の成果を上げましたが、小売事業の不振店の閉店を前倒して行なったことと、新規出店したコインパーキングの収益が当初の見込みを下回ったことから、営業利益、経常利益共に、当初の予想を下回る結果となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、前述した小売店舗の閉店による費用を特別損失として計上したことから、当初の予想を下回る結果となりました。

なお、通期の業績予想については現時点においては前回発表のまま据え置いておりますが、業績予想の修正が必要となりましたら速やかにお知らせ致します。

以 上